

スポーツを通して交流を

大津町企業連絡協議会 交流事業

10月21日、大津町企業連絡協議会スポーツレクリエーション大会が町運動公園の総合体育館と多目的広場で開催されました。大会には会員企業から30社460人以上が参加し、ソフトバレーや3クラスに分けたミニバレーに71チームが参加しました。また、グラウンドゴルフにも61人が参加し、それぞれ会員間の交流を深めました。



皆さん元気に体を動かしてスポーツの秋を楽しんでいました

「税を考える週間」に税の理解を

税の作品コンクール表彰式・納税表彰

11月16日、「税の作品コンクール」表彰式がイオン大津店で行われました。熊本県納税貯蓄組合連合会優秀賞(作文の部)を大津北中学校3年生の岩水奈央さん、菊池税務署長賞(作文の部)を大津北中学校3年生の近藤葵さん、菊池地区納税貯蓄組合連合会会長賞(作文の部)を大津北中学校3年生の古庄穂香さん、大津町長賞(習字の部)を大津北小学校6年生の大村琴音さんが受賞しました。



左から岩水さん、近藤さん、大村さん、古庄さん

ふれあいの場となる森林づくり

ふれあいの森林づくり優良市町村

11月10日、11日の両日、第36回全国育樹祭が静岡県で開催され、平成24年度の「ふれあいの森林づくり優良市町村」の表彰で、大津町が国土緑化推進機構会長賞を受賞しました。これは「ふれあいの森林づくり」の発展のため、緑化推進に顕著な実績をあげた市町村や団体などを表彰するもので、大津町はボランティアによる植樹といった活動などが認められての受賞となりました。



これからも町では緑化推進に向けて活動を続けていきます

耕作放棄地を利用して農業体験と食育

町農業委員会が里芋掘りと試食会を開催

10月29日、若草児童学園、大津あゆみ園、よろこび保育園の子どもたちや太寿園、光進園の高齢者など約200人で里芋掘りを行いました。その後、光進園でのっぺ汁やコロケ、炊き込みご飯などにして皆で食べながら交流を深めました。これは、町農業委員会が耕作放棄地解消事業の一環として行っているもので、今春、雑草や樹木が生い茂った畑を農業委員が耕してよみがえらせた。



皆で協力してたくさんの里芋を掘ることができました

電動二輪車『EV-neo』を貸出します

熊本県次世代パーソナルモビリティ社会性実証実験

地元企業の本田技研工業(株)熊本製作所で生産している『EV-neo』のパーク＆ライド実証実験を平成25年2月～3月に実施します。

県では、この実験の参加者を公募します。対象者はJR肥後大津駅を利用した通勤に『EV-neo』を利用できる人で、参加者には無料でヘルメット・グローブを進呈します。また、公募期間中は肥後大津駅南口『大津町ビジターセンター』で随時試乗できます。



からいもくんも大喜びのクリーンで静かな電動二輪車でクリーン通勤!!

同時に、EV-neoが立ち寄った時に充電にご協力いただける店舗も募集しています

- 公募期間 12月3日(月)～平成25年1月18日(金)
- 実験期間 平成25年2月4日(月)～3月8日(金)
- 募集人数 10人(応募多数の場合は抽選)
- 抽選日 平成25年1月25日(金)
- 対象者 JR肥後大津駅から2～7Km内に在住し、駅を利用して通勤している人で、自宅で100Vコンセントから充電が可能な18～60歳(学生を除く)の人。
- 貸与内容 EV-neo、普通充電器、ヘルメット、グローブ
- 実験内容 通勤・買い物などに幅広く使用し、毎日の走行距離と充電有無を記録する
- 申込方法 役場またはビジターセンターに備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、役場もしくはビジターセンターにお申込みください
- 問い合わせ 役場都市計画課 都市計画係 ☎096(293)4011

「フレッシュミズで私も元気、地域も元気」

「フレッシュミズの主張」全国コンクール

10月28日、JA全国女性組織協議会が主催する2012年度「フレッシュミズの主張」全国コンクール審査委員会が開かれ、JA菊池の西本美貴さん(新)が最優秀賞に選ばれました。西本さんはフレッシュミズ大津支部の会長やJA菊池フレッシュミズ「きらり」の副会長を務めており、今回は、フレッシュミズ活動を通じた地域との積極的な交流活動などが評価されての受賞となりました。



3月6日に行われた「フレッシュミズの主張コンクール」で「フレッシュミズで私も元気、地域も元気」と題し発表する西本さん

中央公園に防災薪小屋を設置

協定書調印式

10月28日、防災薪小屋の設置に関する合意書の調印式が大津中央公園で行われました。これは町と「おおづ森の守り人」の間で取り交わされたものです。防災薪小屋は、同団体が県の「水とみどりの森づくり活動支援事業」の助成を受けて製作し、町内3カ所の避難場所に設置したもので、備蓄した薪は災害時の非常用燃料として使用する予定です。



握手を交わす家入町長と鈴木理事長。防災薪小屋は現在、大津中央公園内防災倉庫の隣に設置されています